

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	産業経済局農林水産部水産課
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	釣り台付き遊歩道（脇田海釣り桟橋）	施設類型	目的・機能
	所在地	北九州市若松区大字安屋地先		
	設置目的	「脇田海釣り桟橋」は、地元で活躍している漁業者と港に釣りに訪れる方々が、お互いにルールやマナーを守りながら安全で快適な漁業活動や釣りを行ってもらう目的で整備された施設である。		
利用料金制	非利用料金制 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		ペナルティ制 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名称	ひびき灘漁業協同組合		
	所在地	北九州市若松区大字安屋1742番地		
指定管理業務の内容	(1) 施設の維持管理業務に関すること (2) 安全管理に関すること (施設開閉の判断業務、監視業務、救助業務等) (3) 利用料金の出納管理に関すること (4) 広報等の利用促進に関すること (5) その他管理運営に関すること (地元漁業者と施設利用者との調整業務等)			
指定期間	平成31年4月1日～令和7年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント							
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み							
(1) 施設の設置目的の達成							
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。							
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。							
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。							
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。							
[所見]							
（単位：人）							
利用者数	【参考】H30年度 （更新前）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
要求水準	16,000	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
目標値	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500	16,500
実績	16,956	15,880	14,829	9,600	9,750	9,967	9,323
※ ・・・評価対象年度							
○快適な施設の利用に心掛け、釣り指導・貸し竿の導入・折れた竿の無償修理等、初心者に対する利便性を向上させ、釣り経験のない利用者を増加させるなど、女性、子供、高齢者、身体障害者の方々にも快く施設をご利用いただく努力を行った。							
○夏季は漁協所有の製氷機で作製した氷を施設内に常備し、熱中症対策として利用者へ提供し、冬季は石油ストーブを設置し休憩棟内を暖めるなどの対策を行い、施設に不足する機能を補いつつ、利用者の利便性を実行可能な範囲で高め、集客の増加に努めている。							
○健康増進法の趣旨に沿って、屋外分煙を実施し、喫煙者及び禁煙者の両者への配慮も行っている。しかし、休憩所付近に喫煙コーナーがあり、受動喫煙対策は万全ではない。この施設は、施設の性格上、全面喫煙の実施は難しいとは感じるが、様々な公的な施設の全面禁煙化が進んでいることを踏まえると、完全分離の実施に向けて、お客様に理解を求め、快適な空間づくりに向けた対策が望まれる。							
○釣具店、新聞、雑誌、指定管理者ホームページ等を活用し、積極的に釣果情報の提供を行っている。							
○「親子釣り教室」、「親子釣り大会」や「カサゴ稚魚放流体験」といった集客イベントを開催するとともに、各種団体の釣り大会への支援を通して施設のPRを行った。							
○脇田海釣り棧橋公式ホームページに釣果情報やイベント情報を掲載し、集客を図っている。							
○令和6年度は令和5年度に比べ利用者数は減少し、令和元年のコロナ感染拡大前の利用者数には大きく届いていないのが現状である。利用者数が増えない最たる要因として							

は、令和6年度においても、釣り客に好評だったアジ釣りが不調であることが挙げられるが、海洋環境の変化が影響しているものとみられ、指定管理者の営業努力で改善できるものではないのが実情である。

○そのなかで、目標数値には届いていないが、指定管理者は集客目的のためのイベントを開催しており、利用者数回復に向けて積極的に取り組んでいることは評価できる。

(2) 利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

アンケート結果① 施設全体についての感想（非常に満足・満足）							
満足度	【参考】R30年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
目標値	96%	90%	90%	90%	90%	90%	90%
実績	95%	89%	90%	94%	98%	87%	100%

アンケート結果② 再来希望・職員の満足度							
	【参考】R30年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
再来希望	98%	93%	95%	97%	97%	100%	100%
職員の対応 (非常に良い・ 良いの計)	94%	94%	100%	100%	100%	100%	100%

※ ・・・評価対象年度

○令和6年度における施設全体への感想は、「非常に満足」「満足」の合計が100%と前年度を上回る結果となった。

○再来希望が100%と高いことや利用者から寄せられた苦情についても早急に対応するなど職員の対応も利用者から「非常に良い・良い」との評価をいただいております。設置目的である「快適な釣り場環境の提供」は十分に対応している。

○アンケートの回収率が年々減少している。利用者の声は、施設運営においては、重要な指数であり、指定管理者はその対策に向けて早急な対策の実施が望まれる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

指定管理料 (単位：円)							
年度	【参考】R0年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算(計画)	8,100,000	7,800,000	7,944,444	7,944,444	7,944,444	7,944,444	8,091,000
実績	8,700,000	7,872,222	7,944,444	7,944,444	7,944,444	7,944,444	8,091,000

支出額 (単位：円)							
年度	【参考】R0年度 (更新前)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
予算(計画)	22,343,000	21,356,000	21,356,000	21,356,000	21,356,000	21,356,000	21,356,000
実績	19,101,834	19,278,003	19,281,151	16,858,601	17,535,685	17,363,051	18,821,698
削減額	3,241,166	2,077,997	2,074,849	4,497,399	3,820,315	3,992,949	2,534,302

※ ・・・評価対象年度

○漁業協同組合の長所を活かし、組合員の協力を得ることで、各種イベント、根がかり清掃、利用者の安全管理に使用する警戒用船舶などの経費を節減した。さらに、利用者の動向を分析することで、指導員の配置を適宜見直すなど人件費の抑制にも努めている。

○機械警備を再委託することで部外者の侵入等を未然に防止し、求められる効果が得られている。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

	【参考】R0年度 (更新前)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値(円)	15,610,000	14,000,000	14,000,000	14,000,000	14,000,000	14,000,000	14,000,000
実績金額(円)	14,072,000	13,188,300	12,602,000	8,059,000	8,228,700	8,431,900	7,865,100
前年度比割合(%)	104.3%	93.7%	95.6%	63.9%	102.1%	102.4%	93.2%

※ ・・・評価対象年度

○収入を増加させるため、各種団体等によるイベントや釣り大会を誘致し、集客増に向けた取り組みを行った。また、貸し釣具を充実させることにより、釣りの経験がない方にも利用していただける努力を行っている。ホームページ運営も釣果を載せることにより、利用者の興味を引くよう、こまめな更新を行ってきた。

○平成24年4月より導入している高齢者割引制度を、令和6年度も継続して行うなど

の努力を行ったが、年間目標値には大きく届かず、令和元年度以降相変わらず減収状態が続いている。

○ここ数年の利用者の低迷は、アジ等の人気魚類の不漁といった海洋環境の変化に由来する事象が要因であるが「指定管理者としてできることはないか」等、他の施設も参考にしつつ、可能な限りの創意工夫をしながら取り組んでもらいたい。その結果として利用者数の減少による減収が続くようならば、新たな視点で、指定管理者と課題の検証を図っていききたい。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

○管理体制を明確にして役割分担を行い、常時、責任者または副責任者を1名、巡回員を2名又は3名配置することで、少ない人員で必要十分な施設運営が達成されており管理体制は適切である。

○利用者サービス、安全管理等の心がけ、気象・海象、魚種、釣り方等の知識についての研修を実施するなど、職員の資質・能力を向上に努めている。

○漁村地域の核となる漁業協同組合が指定管理者であることから、地元漁業者の調整を綿密に行い、施設周辺海域での禁漁や救助活動への協力を得るなど、漁業権設定海域に位置する本施設の運営を円滑に行っている。

○地域住民を従業員として積極的に雇用する等、地域との連携も十分に図られている。加えて、「親子釣り教室」、「親子釣り大会」や「カサゴ稚魚放流体験」といったイベントを積極的に開催し、賑わいの創出を図り、地域社会への貢献も行っている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ② 施設の利用者の個人情報を守るための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

○指定管理者が平成17年4月1日に定めた「情報管理基本方針」に基づき、個人情報管理を徹底しており、釣果の情報として、個人の写真を施設内やホームページに掲示する際には、本人の了承を得ている。

○子供、女性、高齢者、障害者等の方も快く釣りを楽しめるように、必要に応じた釣り場所の確保や、特定の釣り人が場所を占有しないための指導も積極的に行っており、利用者マナーの向上につなげている。

○安全対策は、北九州市が作成したマニュアルを活用している。運用においては、実態に即した対応や体制づくりが必要で、他都市のマニュアル等も参考に改善を加えて、転落等の事故発生時や非常災害時での即時に対応できる体制づくりを行っている。

○防災対策は、消火訓練及び消防設備の定期点検を適切に実施している。

○気象状況については、施設に設置された雷警報機や風速計の情報に加え、職員の地域気象に関する経験も踏まえ、総合的に判断し、天候の急変が予想される場合には利用者の安全を第一に考え、施設閉鎖等の対応を実施しており、平成13年度の施設開設以来継続している転落事故0を令和6年度も更新し「安全・安心に利用可能な施設」と評価できる。

【総合評価】

[所見]

釣り指導、貸し竿の導入などによる、釣り経験のない方にも釣り棧橋を利用していただく努力を行うなど施設の設置目的である都市住民と漁村住民の交流を実現する運営が行われていることが確認できる。

利用者の満足度については、天候や釣果により大きく左右される施設であるにも関わらず、利用者のリピート率の高さ、施設全体の感想が非常に良い点などから、評価を得ていると判断できる。

しかしながら、アンケートの回収率は年々低下しているが、回収率向上へ向けた具体的な対策を講じていない。さらに、営業時間の延長を望む利用者の声もある。指定管理者としては、利用者の利用状況を詳細に分析し、ニーズを的確に把握することで、利用者数の増加に努める必要がある。今後は指定管理者の努力目標を明確にし、互いに施設設置の目的達成に向けて協力していかなければならないと考える。